

# 「CFP認定教育プログラム※」の修了後にAFPの資格を取得した13期生の先輩方にお話を伺いました。

取材記事 / 山本寿子、立花和将

※RBSで該当する単位を取得するとAFP資格の認定を受ける権利を得られるプログラム

## —なぜAFPの資格を取得しようと思ったのですか？—

**山田**：理由は2つあり、1つは、AFPの資格が職場において昇格に関わるポイントになるからです。ファイナンシャル・プランナーについては、元々FP技能検定2級も持っていました。もう1つは、自分自身のライフプランを設計するために役立つと思ったからです。実際に授業では年代別にどのようなライフプランを組むかによって、最終的にどのくらいの資産が運用され、どのくらいが残る、とシミュレーションをしました。

**王**：自分自身のライフプランを設計するために役立つと思ったからです。また、不動産業界で働きたいと希望していたため、顧客に対する提案に生かせると思ったからです。不動産は投資先として保険や証券などよく比較されます。自分が理解していないとメリット・デメリットを説明できないわけです。そういう時にはAFP取得のためにRBSで学んだことがとても役に立っています。

**阿部**：私は、家業を継ぐにあたり、従業員のライフプランに考えたいと思い、それについて理解できる経営者になりたかったからというのが大きな理由です。

## —CFP認定教育プログラムで特に興味を持った授業は？—

**阿部**：「リスクと保険」は直近のライフプランに直結する内容で勉強になりました。分かりやすかったですし、実際に自身でもすぐに使えるものでした。

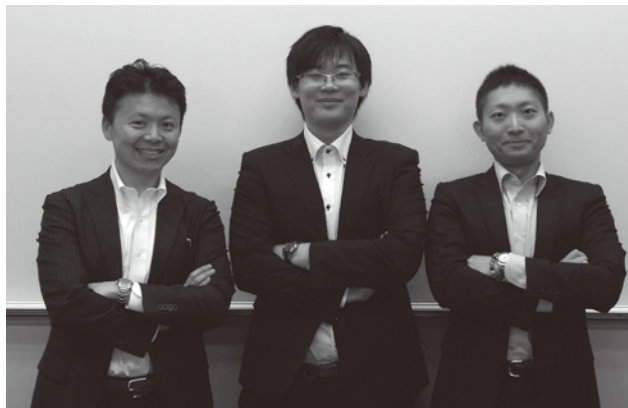
**山田**：「パーソナルファイナンス1・2」はFPに関する内容が充実していたと感じます。担当されていた濱田先生の本プログラムに対する思いも感じることができました。

**王**：不動産の仕事をしているので、「不動産運用設計」では実務家の話を聞くことができて良かったです。授業を受けている時は、すべてを理解できたという自信は持てなかったのですが、実際に不動産業界で働いていると、授業で教わったことを思い出すことも多く、仕事に役立つ良い知識が得られたと実感しています。

## —AFPの資格取得や更新について、どのようなことが必要ですか？—

**阿部**：AFPの資格申請では、課題として提案書の作成が求められます。「パーソナルファイナンス2」では提案書に関する個別指導を受けることができますので、申請に関する準備は授業の中で済ませることが出来ます。

**山田**：AFP資格の更新には継続教育の単位取得が必要になるのですが、日本



(左から) 阿部 太一さん、王 洪浩さん、山田 晋也さん

FP協会から定期的にお知らせが届くので、そこで受講するべき講座等が案内されます。その講座を2年間に15単位取得すると資格を更新できます。

## —将来はCFPの資格取得を目指しますか？—

**山田**：CFP取得にはFPとして3年間の実務経験が必要です。実務経験を積むことができる部署に配属されたら、その際に取得しようと考えています。

**王**：不動産業の場合はローンや保険、さまざま知識が必要ですので、CFPは仕事にも活かせる資格だと考えています。7年間で6分野の試験に合格することが求められますが、ぜひチャレンジして取得したいと思っています。

## —在校生に向けてメッセージをお願いします。—

**山田**：CFP認定教育プログラムでは、RBSの修了生など実務家の先生による授業があり、実践的な話を聞くことが出来ます。先輩方とのネットワークを広げる意味でも、ぜひ受講をお勧めします。

**王**：現代社会は動きが早く複雑です。FPの勉強は自分のライフプラン設計にも役立つと思います。

**阿部**：当プログラムの受講に当たっては、明確な目標を持って臨むと良いと思います。RBS全体の授業の中で、FPに関する授業をどう位置付けるかを、自身で整理したうえで受講をすると効果が上がると考えます。

## PROFILE

### 阿部 太一さん

RBS13期生。大手総合商社を退社後、父親が代表を務める専門商社に入社。現在は同社で展開するブランドのマネージメントに従事している。RBS在学中はチームリーダーとしてJBCC2015本選へ出場した。

### 王 洪浩さん

RBS13期生。株式会社ホウキンカク 不動産マーケティング部所属。外国人向けの不動産売買に携わり、外国人が所有する不動産の管理及び不動産付加価値の開発について検討を行っている。

### 山田 晋也さん

RBS13期生。全国農業協同組合連合会所属。畜産事業部配属となり主に鶏卵の大手流通販売に携わる。後に新規事業関連に着手、海外を含めた国産農畜産物の販路拡大について検討を行っている。RBS在学中はコンサルティング・メソッドの最終発表などを務めた。

BizCom Vol.53

## 編集後記

Editor's postscript

今回よりBizComの編集に携わりました。BizComを通じてRBSを一層盛り上げていきたいです。

(富岡 哲也)

BizComを通じて多くの出会いと学びがありました。この素晴らしい伝統が引き継がれていくことを願います。

(立花 和将)

初仕事が入社インタビューと記事作成。メンバーの助けもあり完成。話を要約的に伝える深さを学びました!

(青樹 宏一)

今回、初めて編集作業に携わらせていただきました。皆様、ご協力ありがとうございました。

(山本 壘)

M1の一年間に様々な試験を乗り越えていくことで精神的に成長するとともに、確固たる自信が芽生えて来たと思います。

(向 格)

入学してから瞬間に秋学期突入。様々なキャリアを積んだ同志達と切磋琢磨する毎日に充実しております。

(畑 一道)

入学から7ヶ月が経ち、様々な考え方に会ったことで視野が広まったように感じています!

(福澤 雄太)

AFPの資格を取得された修了生のお話はとても勉強になりました。出会いと学びに感謝しています。

(山本 寿子)

初めてBizComの編集に参加しました。これからもいろいろな人と出会って、前向いていきます!

(周 嘉柔)